

# OBM マンスリー

## 2019.5月号 Vol.229

2019年5月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市西区江戸堀2丁目6番33号  
江戸堀フコク生命ビル10F

TEL 06-4256-5371 FAX 06-4256-5375

Eメール osakabma@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp



わが社の

**イチオシ!**

### 株式会社美交工業

#### 障がい者雇用を支えるしごと

弊社は、昭和55年の設立からビルメンテナンス事業をスタートし、公共施設の清掃業務や指定管理者として公園の管理運営を行っています。「人と環境とのつながりを大切にした社会づくり」を経営理念として、事業活動を通じて知的障がい者の雇用をはじめ生活困窮者の雇用に取り組んでいます。平成15年頃からはじめた雇用の取り組みは、現在では障がい者雇用率20%を超えるまでになりました。

私のおもな仕事は、総務係長という立場で、労務全般に関する実務と、職場で働くスタッフの相談役です。また、第2号職場適応援助者の資格を取得し、職場の知的障がい者が働きつづけるためのサポートもしています。知的障がい者のサポートでは、個々の特性の把握につとめ、一人ひとりの「心の声」を汲み取るように心がけています。

#### 知的障がい者の雇用

弊社には、22名の知的障がい者が働いています。知的障がい者は、自分の感情を上手く表現できない方が多いため、本社・職場・支援機関・家族等が連携し、本人（当事者）にとって最適な環境づくりを考えます。状況に応じて本人も交え、あくまでも本人の意思を尊重しながら話し合っています。

弊社では、大阪知的障害者建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）で清掃の訓練を受けた方を雇用しています。訓練で清掃を経験し、エル・チャレンジで各々の適性を把握されているので、雇用のプロセスを円滑に進めていくことができます。また、定着支援に向けた連携も、支援機関との長年の信頼関係があるからこそ、成り立っているのだと思います。

#### “アビリンピックおおさか”に参加して

平成26年、弊社の社員がはじめて“アビリンピックおおさか”に参加しました。会社の考え方も、私個人も、弊社で働く障がい者には「機会があれば、いろんなことにチャレンジさせてあげたい」と常々考えていました。

“アビリンピックおおさか”に出場するには、決められた手順に従い、弾性床材とカーペット床材の2つの課題を習得する必要がありました。日常の仕事とは異なるため、一から課題を覚え、業務終了後に練習もしなければなりません。最初は「本人の負担になるのでは？」と思っていました。みんなに声をかけると、2名のスタッフが「やってみたい！」と手を上げてくれました。

平成30年、最初は2名で出場した競技も、1名は金賞を獲得したことから、残った1名だけで挑戦することになりました。彼は今年で5回目の挑戦になります。緊張のあまり落ち着いて競技に集中することができず、毎年、ハラハラ・ドキドキしながら、手順を間違わないように、失敗しないように見守っていました。無事に競技を終え、会場の玄関で記念写真を撮っていると、審査員の先生が「君は毎年参加してくれてるよね。年々、上達しているのがよくわかる。今年が一番良かったよ。これからもがんばってください。」と声をかけてくださいました。嬉しくて握手！ 本人はとても嬉しそうでした。彼にとっては何よりの励みの言葉になったと思います。審査員の先生、ありがとうございます！

何年も挑戦し続ける彼らから、彼ら自身のみならず、私たちが学ぶことが多い競技大会になっています。令和元年、今年も挑戦しつづけます!!



総務係長 佐藤 弘美

## ズームアップ



### 設備保全部会の活動を終えて

平成20年から設備保全部会（研修見学会）に参加して早11年が過ぎました。

この度、退職を迎えるに当たり、協会活動を通して、同業他社の人達との交流（打合せ会や飲み会等）が有り、自社の人間関係とは違った付き合いが出来た事に、大変感謝をしています。

部会での活動としては、各年度毎に事業計画を策定し、テーマに沿って各種「メーカー」の工場見学や最新建物の施設見学会、外部から講師を招いての研修会等の催し物を企画（約60回/11年）して来ました。その際、各依頼先の企業様には、多大なご協力を頂き開催出来ました事を、この場をお借りして感謝申し上げます。

各催し物が参加企業の方々に、多少とも役立つように心掛けて来ましたが、少しはお役に立てたでしょうか…？

現在のビルメン業界では、人材不足・災害時の対応（BCP）・IT技術導入・経営の改革等多くの解決しにくい問題を、業界と各企業レベルで抱えており、今後とも継続的な取り組みが必要な課題ばかりです。

そんな中でも、大阪協会と「ビルディング協会」との交流活動は、私にとって大変意義深い事でした。ビルディング協会主催で毎年2回開催されている技術セミナーの中で、特に印象に残ったセミナーについてご紹介したいと思います。

平成30年11月度セミナー講師名古屋大

学福和伸夫教授のお話で、タイトルが、「地震を知る、地震による被害を知る、地震への備えを知る」…本当のことを話してみよう…

#### ①地震を知る

- ・最近の自然災害状況  
大規模地震・台風・豪雪・猛暑等の被害増加で被害補償の保険支出額が増大している。
- ・今後の地震発生予想と日本列島の被害予想  
370年前の南海トラフ地震・津波発生から70年後に富士山が噴火した事から、南海トラフ地震は周期的に、今後30年間で70～80%の確率で起こる、必ず来る（逃げられない）。

#### ②地震による被害を知る

- ・想定被害：  
試算－1：最悪死者32万人 被害総額220兆円 建物被害240万棟  
試算－2：土木学会（長期的被害）20年間で1,410兆円  
地震津波が発生した場合、日本の工業・産業の基幹施設や高速道路、鉄道、通信、港湾等が太平洋側に集中している為に各種製造施設、流通の遮断により長期にわたり、甚大な被害が予想される為、円が暴落し日本経済力の低下、国力の衰退（最貧国）の道をたどる。
- ・日本の危険な視点  
太平洋側に基礎産業を集中的に建設してきた。  
過去の地震に対する「振り返り」を怠った。  
効率化・コスト削減を最優先化した経営手法。

検査データ等の改ざんによる品質・安全確保の欠損。

#### ③地震への備え…改めるべき視点と今後の対応策

- ・自力による防災対策・減災対策の確立が必要。  
他人任せにしない、被害を最小限にする知恵を持つ。
- ・各地域で防災対応検討ワーキンググループの設置の検討が必要。

#### セミナー参加後の感想

一般的に講演会の話は、建前が多く表面的で、時間が経つと記憶が薄れていく事が多いのですが、福和先生の話は、今も脳裏に残っている内容でした。

「公助」だけの対応では限界なので、「自助」が重要。そして「私」の権利を主張し、「公」に依存する現状のバランスを見直す必要が有ると強調されていました事に強い印象を受けました。

地球誕生の時間軸と人の時間軸が異なっているにもかかわらず、勝手に人の目線で判断し、甚大な想定被害から目を逸らし、問題点を先送りしている現状を再認識させられました。

今後、自分なりに取り組める事から、一つずつ実施して行きたいと考えています。

最後に大阪協会の諸先輩、部会の方々や事務局の方々にご指導、ご鞭撻を多く頂き、誠にありがとうございました。今後とも、皆様方のご健闘をお祈り申し上げます。

（設備保全部会 赤川 良一）

## 2018年度 第11回 理事会

5月10日（金） 協会会議室

#### 1. 審議事項

- ①新協会の内覧会

#### 2. 報告事項

- ①こども絵画コンクール
- ②委員会部会報告

### 委員会・部会

#### 広報委員会

5月17日（金）出席者6名 協会会議室

- 議案① 「OBMマンスリーVOL229」編集について
- 議案② 「OBMこみゆにけ～しよんずVOL94」内容について
- 議案③ 「絵画コンクール」について

#### 設備保全部会

4月8日（月）出席者19名 協会会議室

- 第9回設備保全部会
- 議案① 各小委員会活動報告  
活動内容の確認
- 議案② その他報告事項確認

### 近畿地区本部だより

- 2019年度建築物清掃管理評価資格者講習のご案内

#### 【通称：ビルクリーニング品質インスペクター】

- ・講習日程 大阪G-1  
10月7日（月）8日（火）9日（水）  
大阪G-2  
10月7日（月）8日（火）10日（木）
- ・会場 大阪科学技術センター
- ・定員 各50名
- ・受付期間  
ネット申請  
会員：5月13日（月）10時～6月3日（月）17時  
一般：5月20日（月）10時～6月3日（月）17時  
郵送申請  
会員：5月13日（月）～6月3日（月）消印有効  
一般：5月20日（月）～6月3日（月）消印有効
- ・受講料 会員60,000円（税別・書類・テキスト代込）  
一般100,000円（税別・書類・テキスト代込）

#### ●2019年度ビル設備管理技能検定1・2級のご案内

- ・受付期間：6月4日（火）～6月26日（水）【消印有効】
- ・受検票交付：7月31日（水）
- ・学科（1・2級）・実技ペーパーテスト（1級）：9月8日（日）
- ・実技試験：8月20日（火）～9月10日（火）予定

※指定された受検日は変更できません。

- ・合格発表：10月31日（木）

※以上、受検案内はビルメンアビリティセン

ターよりダウンロードできますのでご利用下さい。

(<http://goukaku.j-bma.or.jp/study/index.html>)

複数部ご入用の向きは大阪協会事務局までご連絡下さい。

### 事務局からのお知らせ

#### ●第45回OBMソフトボール大会のご案内

- ・日時 2019年8月24日（土）、25日（日）、31日（土）、9月7日（土）、予備日：9月16日（月・祝）、22日（日）  
午前9時～午後5時（試合時間指定）
- ・会場 万博公園スポーツ広場
- ・締切 2019年5月31日（金）必着
- ・チーム編成 ①原則として会員企業の社員にて編成してください。  
②会員企業の連合チームとしても可能です。
- ・試合方式 トーナメント方式（勝ち抜き・OBMルール採用）
- ・抽選日 2019年6月6日（木）午後2時 協会会議室
- ・参加費 1チーム 30,000円（6月6日抽選日持参）

※ご案内はFAXにてお送りしております。詳細は事務局までお問合せください。

#### ●2019年優良社員表彰推薦のお願い

当協会では、例年会員企業へ勤務する社員の方を対象とした優良社員表彰を行っております。本年も以下の要領により実施いたしますの

で、該当者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

・推薦基準

- ①勤務成績が優秀であり、会社の発展に貢献し、他の模範となる優良な社員
- ②2019年3月31日現在、勤続10年以上の社員（管理職にある者を除く）

・締切 2019年5月24日（金）  
延長予定です！

・表彰式日時 2019年7月9日（火）15時～  
（表彰者受付14時～）

・表彰式会場 ホテルビナリオ梅田  
（旧・ホテルサンルート梅田）

※FAXにてご案内しております。OBMホームページにも掲載しております。詳細は事務局までお問合せください。

### 訓練センターだより

●2019年度ビルクリーニング科通信訓練1級技能士コースのご案内

- ・受付期間 5月10日（金）～6月7日（金）  
当日必着
- ・実施時期 2019年8月1日～2020年7月31日
- ・受講料 110,000円（消費税・教材費込）
- ・受講資格 ビルメンテナンス関係事業の事業主の推薦を受け、ポリッシャー機器操作が十分出来、かつ下記のいずれかに該当する方
- ①開講時点でビルクリーニングに関して通算4年以上の実務経験者
- ②ビルクリーニング技能士2級合格者等。

●2019年度 ハウスクリーニング技能検定受検準備講習のご案内

- （公社）全国ハウスクリーニング協会が主催する「ハウスクリーニング技能検定」の受検者を対象にした、ハウスクリーニング受検準備講習会です。
- ・受付期間 5月13日（月）～6月21日（金）  
必着

- ・定員 大阪会場36名
- ・日程 学科：9月20日（金）  
実技：9月17日（火）～19日（木）  
【この期間内に実技1.5日間／予定】

※ハウスクリーニング技能検定は、（公社）全国ハウスクリーニング協会へ申請して下さい。（ホームページ <http://www.housecleaning-kyokai.org/index.php>）

※その他詳細及び受講案内をご希望の方は、（一財）建築物管理訓練センターのホームページをご覧ください。  
(<https://www.bmtc.or.jp/>)

### 会員だより

●代表者変更

〔正会員〕

- ・株式会社ダイケンビルサービス  
（新）執行役員大阪支店長 八木 俊之 様  
（旧）取締役支店長 大宮 秀基 様  
（2019年1月より）

- ・株式会社ドゥサービス  
（新）代表取締役社長 岸 彰浩 様  
（旧）代表取締役 清水 修治 様  
（2019年5月17日付）

### 講習会お知らせ

#### 教育センターだより

（公財）日本建築衛生管理教育センター講習会予定

●清掃作業監督者（新規）

- ・受付期間 2019年5月28日（火）～6月7日（金）
- ・実施期間 7月16日（火）～17日（水）

●空調給排水管理監督者（新規）

- ・受付期間 2019年6月12日（水）～25日（火）
- ・実施期間 8月1日（木）～2日（金）

●建築物環境衛生管理技術者

- ・受付期間 2019年6月13日（木）～19日（水）
- ・実施期間 8月21日（水）～9月7日（土）

●統括管理者（新規）

- ・受付期間 2019年6月18日（火）～28日（金）
  - ・実施期間 8月6日（火）～8日（木）
- ☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※申込期間中、早めにお申し込み下さい。  
用紙のダウンロード・お申し込みは公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。  
（ホームページ <http://www.jahmec.or.jp/>、  
TEL 06-6836-6605）

### 事務局移転のお知らせ

（一社）大阪ビルメンテナンス協会事務局が2019年5月10日（金）より移転しました。

新住所：〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-6-33  
江戸堀フコク生命ビル10F

TEL 06-4256-5371 FAX 06-4256-5375

新メールアドレス：osakabma@obm.or.jp

今後とも、何卒よろしく願い申し上げます。

### 令和、いい時代に

理事 米澤 勉

令和改元をはさんだ10連休が終わりました。

「平成」から「令和」へと移行する先月30日、大阪は未明まで過ぎさって行く時代を惜しむかのように雨に濡れました。

ミナミの道頓堀では、午前0時を迎えると大きな歓声が上がリ、大勢の観光客や若者が集まり、新たな時代の幕開けを祝いました。

「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められているとのこと。

こんな記事がありました。

昭和世代はパワフルで、苦難に屈しない精神がある。

上下関係に厳しく、人付き合いも上手。ただしITが苦手。

平成世代は、温和ではあるが、どこか冷静で論理が際立つ人が多い。

ITを駆使して、変化への対応も早い。ただし打たれ弱いところがある。

人間力で勝負の昭和世代、人間力よりITで勝負の平成世代、令和生まれはどんな世代になるのでしょうか。

昨今、話題となっている「AI（人工知能）」「VR（ヴァーチャルリアリティ）」というキーワードをもとに、専門家の予想が3つあったのでご紹介します。

一つ目は、新しい仕事生まれること。

AIによって人間の仕事が無くなると言いますが、そのAIを制御する仕事が増えるそうです。

今までのように、将来のために大学進学を目指さず手に職を付ける為に、専門学校を志望する人が増えるのではないかと書かれてありました。

二つ目は、フルダイブ型VRの普及です。

フルダイブとは仮想現実の究極の姿で、仮想空間内に五感を接続して、その世界に入り込んでしまうことを指します。

映画アバターの世界で、実現目標は2030年だそうです。

人類は現実と仮想空間を行き来して、もう一つの人生を同時に歩むようです。

三つ目は、人間とAIが統合された新しい人類の誕生です。

人間がネットに接続されて、記憶のみならず、自分の考えや経験をオンライン上にアップロードする事で、肉体が減んでも電子的には死ななくなります。

そして最新のバイオテクノロジーで作った新しい肉体にダウンロードすれば、再び生まれ変わることができます。

映画のような世界が現実になるのは些か疑問ですが、テクノロジーとうまく付き合いながら、時代の流れに乗っていきたくと思います。

それと同時に令和でも「昭和の人間力」と「平成の変化対応力」を磨くことも忘れずに過ごしたいと思います。

いい時代になればと、心から願います。

OBM行事予定

5月	25	土	
	26	日	
	27	月	
	28	火	
	29	水	ビルクリーニング技能検定2級水準調整会議
	30	木	通常総会(大阪新阪急ホテル)
	31	金	臨時近畿地区協会会長会議 KKC総会(ホテル阪急エキスポパーク)
6月	1	土	
	2	日	
	3	月	
	4	火	環境衛生委員会
	5	水	近畿地区役員会議/政治連盟ブロック会議
	6	木	総務友好委員会/ソフトボール大会抽選会
	7	金	労働安全大会(ドーンセンター)
	8	土	
	9	日	
	10	月	設備保全部会
	11	火	
	12	水	警備防災部会 KKC技能実習責任者講習
	13	木	第13回ビルメンテナンス青年部西日本サミットIN京都 KKC派遣元責任者講習
	14	金	三役会議・理事会
	15	土	
	16	日	
	17	月	賛助会世話人会 KKC生活指導員講習
	18	火	ビルクリーニング指導講師水準調整会議 KKC技能実習指導員講習
	19	水	広報委員会 公益・契約委員会
	20	木	経営委員会 ビルクリーニング科通信訓練1級(実技①)
	21	金	〃
	22	土	
	23	日	
	24	月	KYT危険予知訓練・リスクアセスメントセミナー①

労務委員会 労働災害事故事例 (2019年4月度発生分より)

1. 業務災害及び通勤災害数

- ①報告企業数 37件
- ②業務災害数 2件  
 [内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 1件  
 15日以上休業見込み 0件  
 14日未満休業見込み 1件
- ③通勤災害 1件

2. 事故事例

- ①発生日時 2019年4月17日(水) 午前6時30分頃
- ②発生場所 大阪市中央区
- ③年齢・性別 74歳 女性
- ④発生状況 担当職場に行く途中、歩道を歩いていたところ、転倒し左膝を打ち負傷した。
- ⑤怪我の状況 左膝蓋骨 骨折 休業31日以上
- ⑥原因及び対策 歩道ブロック床に段差があり、不注意に手躓き転倒した。足元をよく確認すること。

KKCお薦め講習会(7月)

7月実施予定のKKC主催の講習会は下記のとおりです。  
 詳細は、随時会員企業様に郵送している開講案内、または、KKCホームページ(<http://www.bmkkc.or.jp/>)にてご確認ください。お申し込みは申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

●清掃業務管理責任者レベルアップ研修

ビルクリーニング現場責任者を対象に、現場のクリーンクルーの指導に役立てていただくことをねらいに、責任者としての役割と職務を認識した上で、CSやクレーム対応、安全対策など作業以外の品質もレベルアップさせるために必要な知識を身につけていただきます。  
 <日 時> 7月11日(木) 9時30分~17時  
 <会 場> 江戸堀フコク生命ビル8階研修室  
 <対 象> ビルクリーニング現場責任者やその候補者、本社管理部門担当者など

●ポリッシャー基本実技講座

ポリッシャーを正しく安全に使えるようにすることを目的に開催。ポリッシャーに関する知識・基本操作を学んだ後、少人数で実技の反復訓練を行います。  
 <日 時> 7月16日(火) 13時~17時  
 <会 場> 江戸堀フコク生命ビル8階研修室  
 <対 象> ポリッシャーに触ったことがない方、基本的な操作方法を習得されたい方など。

●外国人技能実習制度における養成講習

外国人技能実習制度における養成講習です。  
 (1) 技能実習責任者講習  
 7月24日(水) 10時~17時50分(神戸国際会館セミナーハウス701会議室)  
 (2) 技能実習指導員講習  
 7月23日(火) 10時~17時20分(神戸国際会館セミナーハウス803会議室)  
 (3) 生活指導員講習  
 7月22日(月) 10時30分~16時50分(神戸国際会館セミナーハウス803会議室)  
 ※次回の開催は、9月12日(木)「技能実習責任者講習」を江戸堀フコク生命ビル(大阪市西区)で実施します。

<令和元年度(前期)警備員現任教育 日程決定のお知らせ>

- 第1回 令和元年8月16日(金)  
午前9時~午後6時(集合午前8時50分)
  - 第2回 令和元年9月4日(水)  
午前9時~午後6時(集合午前8時50分)
  - 第3回 令和元年9月11日(水)  
午前9時~午後6時(集合午前8時50分)
- ※会場はいずれも江戸堀フコク生命ビル8階講習会場です。  
 ※6月より受付開始いたします。

申込・問合せ：一般社団法人関西環境開発センター(KKC)  
 教育訓練部  
 電 話：06-4256-5520  
 F A X：06-4256-5521  
 E-MAIL：bmkkc@swan.ocn.ne.jp  
 URL：<http://www.bmkkc.or.jp/>

編集雑感

太陽の塔

1970年の大阪万博。会場には斬新で個性的な形をしたパビリオンがいくつも建ち並んだ。なかでも、万博のシンボルとして芸術家岡本太郎氏がプロデュースした太陽の塔は、ひととき異彩を放った。  
 体型はペンギンに似て愛嬌があるが、サイズはゴジラのように超巨大。黄金に輝く顔はまるで宇宙人。異様なルックスの造形物は、メインゲート正面で観客を出迎えるとともに、内部に設けられた展示空間は、テーマ館の一部として人気を博した。  
 中学生だった私は、家族や友人と連れ立って何度も会場に足を運んだ。生まれて初めてのカルチャーショックを楽しみながら国内外のパビリオンを見て回った。だが、残念なことに太陽の塔の内部に足を踏み入れた記憶はない。  
 永久保存が決まり閉幕後も存置された太陽の塔は、安全上の理由から長らく扉

を閉ざしたままであったが、大規模改修、耐震補強、内部復元の各工事を終え、昨年3月、展示空間の一般公開がスタートした。応募殺到で予約に手間取ったが、先般遂に見学の機会を得た。万博当時やり残したことが、半世紀を経て実現の運びとなった。  
 見学の所要時間は約30分。展示空間は大きく二つのゾーンで構成される。最初にあらわれるのは「地底の太陽」ゾーン。展示のプロローグに当たる部分だが、太陽の塔の「第四の顔」と呼ばれる巨大な黄金の仮面と、次々と変化する映像、神秘的な音楽が相俟って、呪術的な世界観が見事に作り出されている。  
 テンションが高まったところで次にあらわれるのが、展示の主役をなす「生命の樹」ゾーン。入った瞬間に呆気にとられるほどインパクトのある幻想的な空間が目の前に広がる。天空に向かって伸びる高さ41mの一本の樹体。そこには単細胞生物からクロマニヨン人まで、生物進化をたどる33種183体もの生物模型が取り付けられ、誕生から40億年に及ぶ生命

のエネルギーがダイナミックかつドラマチックに表現されている。半世紀を経過しても色褪せることのない獨創性。まさに究極の岡本太郎ワールドだ。  
 見学を終えた後、しばらく感動の余韻と満足感に浸った。「入れてよかった」。同時にある疑問が頭をよぎった。「ここって、もしかして、万博の時に入ってなかったっけ?」  
 人生二度目の入館だったのか、それともデジャヴか。まあ、今となっては確かめる術もないし、どちらが真実でも構いはしない。再生を果たした太陽の塔は、リアルタイムでの体験者も、未体験者も、ともに感動を味わえる70年万博のレガシーである。  
 2025年の万博では、太陽の塔のような大型のシンボルは設けない方向で現在計画が進められているが、一府民として、形やスケールはどうあれ、「いのち輝く未来」に受け継がれる新たな文化遺産が大阪に生まれることを期待したい。  
 (T. M)